



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東
コード番号 4443 URL https://jp.corp-sansan.com
代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員/CFO (氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益 (注)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	15,726	33.0	522	704.2	312	-	268	-	143	△5.1
2023年5月期第2四半期	11,824	23.5	65	-	△70	-	△113	-	151	△73.7

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 118百万円 (△45.7%) 2023年5月期第2四半期 218百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	1.14	1.13
2023年5月期第2四半期	1.21	1.20

(注) 調整後営業利益：営業利益 + 株式報酬関連費用 + 企業結合に伴い生じた費用（のれん償却額及び無形固定資産の償却費）

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	31,312	13,695	41.6
2023年5月期	31,200	13,190	40.6

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 13,013百万円 2023年5月期 12,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年5月期	-	0.00	-	-	-
2024年5月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	32,653	28.0	1,240	31.7
	～33,674	～32.0	～1,852	～96.6

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 営業損益以下の段階損益については、当社の株価水準によって大きく変動する可能性のある株式報酬関連費用や、一部の営業外損益等の合理的な見積もりが困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年5月期2Q	125,639,668株	2023年5月期	125,410,584株
2024年5月期2Q	871株	2023年5月期	871株
2024年5月期2Q	125,497,002株	2023年5月期2Q	125,012,156株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションの下、「ビジネスインフラになる」というビジョンを掲げ、クラウドソフトウェアにテクノロジーと人力によってアナログ情報をデジタル化する仕組みを組み合わせた手法を軸に、人や企業との出会いをビジネスチャンスにつなげる、働き方を変えるDXサービスを提供しています。

具体的には、企業の営業活動や請求書業務、契約書業務等に対して、デジタルトランスフォーメーション(DX)を促進するサービスを展開しており、DXへの意識改革や働き方の変化、SaaSビジネスへの関心の高まり等によって、DX市場は2030年度に6兆5,195億円(2022年度見込比3兆7,918億円増)(注1)、国内SaaS市場は2027年度に2兆990億円(2023年度見込比6,862億円増)(注2)の規模に達すると予想されています。当社が提供する営業DXサービス「Sansan」は、法人向け名刺管理サービス市場において82.4%のシェア(注3)を占めており、同市場は当社サービスの成長等につれて、2013年から2022年にかけて約16倍に拡大しています。また、当社が提供するインボイス管理サービス「Bill One」は、クラウド請求書受領サービス市場においてNo.1の売上高シェア(注4)を獲得しており、2022年度の同市場は、前年同期と比べて156.8%拡大しています。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	11,824	15,726	+33.0%
売上総利益	10,200	13,423	+31.6%
調整後営業利益	65	522	+704.2%
経常利益	△113	268	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	151	143	△5.1%

当第2四半期においては、Sansan/Bill One事業では、好調な受注状況を背景に、さらなる売上高成長を目的とした営業体制の強化等を行いました。また、Eight事業においては、デジタル名刺交換と名刺管理に特化したアプリハコ概念を変更し、収益化に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比33.0%増、売上総利益は前年同期比31.6%増、売上総利益率は85.4%(前年同期比0.9ポイント減)となり、好調な実績となりました。調整後営業利益は、売上高が伸長したことに加え、主には売上高広告宣伝費率が低下したこと等により、前年同期比704.2%の大幅増となりました。また、調整後営業利益の増加等により、経常利益は黒字を計上しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期同期においては関係会社株式売却益を計上していたこと等により、前年同期比5.1%減となりました。

- (注) 1. 「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編/ベンダー戦略編」富士キメラ総研
2. 「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」富士キメラ総研
3. 「営業支援DXにおける名刺管理サービスの最新動向2024」(2024年1月 シード・プランニング調査)
4. デロイト トーマツ ミック経済研究所「驚異的な成長を続けるクラウド請求書受領サービス市場」(ミックITレポート2023年11月号)

セグメント別の業績は以下の通りです。

①Sansan／Bill One事業

当事業セグメントには、営業DXサービス「Sansan」やインボイス管理サービス「Bill One」等のサービスが属しています。

当第2四半期連結累計期間におけるSansan／Bill One事業の成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高 (注5)	10,516	14,023	+33.3%
「Sansan」	9,532	11,012	+15.5%
「Sansan」ストック	9,039	10,401	+15.1%
「Sansan」その他	492	610	+24.0%
「Bill One」	898	2,588	+188.2%
その他	86	422	+391.0%
調整後営業利益	2,964	3,907	+31.8%
「Sansan」			
契約件数	8,722件	9,234件	+5.9%
契約当たり月次ストック売上高	177千円	193千円	+9.0%
直近12か月平均月次解約率 (注6)	0.49%	0.46%	△0.03pt
「Bill One」			
MRR (注7)	177	494	+179.5%
有料契約件数	1,084件	2,304件	+112.5%
有料契約当たり月次ストック売上高	163千円	214千円	+31.3%
直近12か月平均月次解約率 (注6)	0.50%	0.47%	△0.03pt

(注) 5. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値

6. 各サービスの既存契約のMRRに占める、解約に伴い減少したMRRの割合

7. Monthly Recurring Revenue (月次固定収入)

a.「Sansan」

「Sansan」の契約件数及び契約当たり月次ストック売上高のさらなる拡大に向け、当第2四半期においては、人員採用を通じて営業体制の強化を行いました。

この結果、主に中堅・大企業の新規契約獲得が進み、「Sansan」の契約件数は前年同期末比5.9%増、契約当たり月次ストック売上高は前年同期比9.0%増となりました。また、直近12か月平均月次解約率は0.46%（前年同期比0.03ポイント減）となり、1%未満の低水準を維持しました。

この結果、「Sansan」売上高は前年同期比15.5%増、うち、固定収入であるストック売上高は前年同期比15.1%増、その他売上高は前年同期比24.0%増となりました。

b.「Bill One」

「Bill One」の高成長継続に向け、当第2四半期は、第1四半期に継続してマーケティング活動の強化と積極的な人材採用を通じた営業体制の強化を行いました。

これらの結果、2023年11月におけるMRRは前年同月比179.5%増、ARR (注8) は5,937百万円となりました。また、中堅・大企業の新規契約獲得が進み、有料契約件数は前年同期末比112.5%増、有料契約当たり月次ストック売上高は前年同期比31.3%増となりました。また、直近12か月平均月次解約率は0.47%（前年同期比0.03ポイント減）となり、1%未満の低水準を維持しました。

この結果、「Bill One」売上高は前年同期比188.2%増となりました。なお、当第2四半期までの好調な実績を背景に、2024年5月におけるARRは75億円以上を目指します。

(注) 8. Annual Recurring Revenue (年間固定収入)

c. その他

既存サービスで培った強みや知見、ノウハウ等を活かして、契約DXサービス「Contract One」等の立ち上げに注力しました。また、2023年3月に連結子会社化したクリエイティブサーベイ株式会社の業績が前第4四半期連結会計期間より寄与しています。

この結果、その他売上高は前年同期比391.0%増となりました。

以上の結果、Sansan／Bill One事業の売上高は前年同期比33.3%増、調整後営業利益は前年同期比31.8%増となりました。

②Eight事業

当事業セグメントには、名刺アプリ「Eight」やイベント書き起こしサービス「logmi」シリーズが属しています。

当第2四半期連結累計期間におけるEight事業の成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注9）	1,235	1,509	+22.1%
BtoCサービス	146	166	+13.6%
BtoBサービス	1,088	1,342	+23.3%
調整後営業利益	△149	4	-
「Eight」			
「Eight」ユーザー数（注10）	320万人	343万人	+23万人
「Eight Team」契約件数	3,195件	4,194件	+31.3%

(注) 9. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値

10. アプリをダウンロード後、自身の名刺をプロフィールに登録した認証ユーザー数

a. BtoCサービス

コロナ禍収束に伴うビジネスの正常化やデジタル名刺交換等の機能拡充により、「Eight」ユーザー数は堅調に増加して前年同期末比23万人増の343万人となり、BtoCサービス売上高は前年同期比13.6%増となりました。

b. BtoBサービス

大型のビジネスイベントの開催をはじめとした、各種BtoBサービスのマネタイズ強化に取り組んだ結果、BtoBサービス売上高は前年同期比23.3%増となりました。また、「Eight Team」の契約件数は前年同期末比31.3%増となりました。

以上の結果、Eight事業の売上高は前年同期比22.1%増となりました。調整後営業利益は、売上高が伸長したことに加え、収益性改善に焦点を当てた事業運営を進めた結果、黒字を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

	前連結会計年度	当第2四半期 連結累計期間	(単位：百万円) 前連結 会計年度末比
資産合計	31,200	31,312	111
負債合計	18,009	17,616	△393
純資産合計	13,190	13,695	504
負債純資産合計	31,200	31,312	111

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は31,312百万円となり、前連結会計年度末に比べて111百万円増加しました。これは主に投資有価証券の378百万円増加、敷金の1,762百万円増加及びのれんの268百万円増加、現金及び預金の2,170百万円減少及び売掛金の221百万円の減少によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は17,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円減少しました。これは主に未払金の408百万円減少及び長期借入金の270百万円減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産額は13,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ504百万円増加しました。これは、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ106百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の143百万円増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	(単位：百万円) 前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△646	611	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	796	△2,711	△3,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	430	△85	△515
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,828	18,806	2,977

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,178百万円減少し、18,806百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は611百万円（前年同期は646百万円の支出）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の計上262百万円、非現金支出となる減価償却費の計上415百万円、売上債権の減少額250百万円及び仕入債務の増加額154百万円によるものであり、主な減少要因は未払金の減少額484百万円及び前払費用の増加額177百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は2,711百万円（前年同期は796百万円の収入）となりました。主な減少要因は敷金の差入による支出1,956百万円、投資有価証券の取得による支出311百万円、無形固定資産の取得による支出195百万円及び有形固定資産取得による支出139百万円によるものであり、主な増加要因は敷金の回収による収入192百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は85百万円（前年同期は430百万円の収入）となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出286百万円によるものであり、主な増加要因は新株の発行による収入200百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想については、2023年7月13日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,114	18,944
売掛金	1,180	958
前払費用	604	793
その他	341	331
貸倒引当金	△32	△34
流動資産合計	23,207	20,993
固定資産		
有形固定資産	770	761
無形固定資産		
ソフトウェア	827	769
のれん	706	974
その他	0	0
無形固定資産合計	1,533	1,744
投資その他の資産		
投資有価証券	3,705	4,083
敷金	885	2,647
繰延税金資産	595	574
その他	502	506
投資その他の資産合計	5,689	7,813
固定資産合計	7,993	10,318
資産合計	31,200	31,312

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	338	492
1年内返済予定の長期借入金	558	542
未払金	1,929	1,520
未払法人税等	206	245
未払消費税等	410	347
前受金	10,729	10,678
賞与引当金	601	720
その他	207	199
流動負債合計	14,982	14,747
固定負債		
長期借入金	2,838	2,568
退職給付に係る負債	-	51
役員退職慰労引当金	-	54
その他	188	194
固定負債合計	3,027	2,868
負債合計	18,009	17,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,582	6,688
資本剰余金	4,178	4,285
利益剰余金	1,695	1,838
自己株式	△2	△2
株主資本合計	12,454	12,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156	137
為替換算調整勘定	49	64
その他の包括利益累計額合計	206	202
新株予約権	457	539
非支配株主持分	72	143
純資産合計	13,190	13,695
負債純資産合計	31,200	31,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日)
売上高	11,824	15,726
売上原価	1,624	2,303
売上総利益	10,200	13,423
販売費及び一般管理費	10,270	13,111
営業利益又は営業損失(△)	△70	312
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	2
助成金収入	7	3
投資有価証券売却益	291	-
保険解約返戻金	-	12
その他	3	4
営業外収益合計	303	22
営業外費用		
支払利息	6	6
為替差損	12	8
支払手数料	5	1
持分法による投資損失	285	-
投資事業組合運用損	23	16
賃貸借契約解約違約金損失	-	19
その他	13	13
営業外費用合計	346	66
経常利益又は経常損失(△)	△113	268
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
関係会社株式売却益	431	-
特別利益合計	431	0
特別損失		
固定資産除却損	25	6
特別損失合計	25	6
税金等調整前四半期純利益	291	262
法人税、住民税及び事業税	175	126
法人税等調整額	△39	13
法人税等合計	136	140
四半期純利益	155	122
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に 帰属する四半期純損失(△)	4	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	151	143

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	155	122
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	45	△18
為替換算調整勘定	17	15
その他の包括利益合計	63	△3
四半期包括利益	218	118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214	139
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291	262
減価償却費	418	415
のれん償却額	13	55
固定資産除却損	25	6
株式報酬費用	121	75
新株予約権戻入益	△0	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	57	107
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	6	6
関係会社株式売却損益(△は益)	△431	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△291	-
投資事業組合運用損益(△は益)	23	16
持分法による投資損益(△は益)	285	-
売上債権の増減額(△は増加)	102	250
前払費用の増減額(△は増加)	△41	△177
その他の資産の増減額(△は増加)	△44	41
仕入債務の増減額(△は減少)	△14	154
未払金の増減額(△は減少)	△245	△484
前受金の増減額(△は減少)	△500	△52
未払消費税等の増減額(△は減少)	△184	△71
その他の負債の増減額(△は減少)	2	7
その他	52	74
小計	△352	684
利息及び配当金の受取額	1	3
保険金の受取額	-	12
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△288	△82
営業活動によるキャッシュ・フロー	△646	611

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	49	-
有形固定資産の取得による支出	△140	△139
無形固定資産の取得による支出	△264	△195
投資有価証券の取得による支出	△286	△311
投資有価証券の売却による収入	1,406	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△136
関係会社株式の売却による収入	546	-
出資金の払込による支出	△500	△92
敷金の差入による支出	△1	△1,956
敷金の回収による収入	-	192
その他	△13	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	796	△2,711
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	-
長期借入金の返済による支出	△241	△286
株式の発行による収入	169	200
新株予約権の発行による収入	22	19
その他	△20	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	430	△85
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	583	△2,178
現金及び現金同等物の期首残高	15,245	20,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,828	18,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	Sansan/Bill One事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,515	1,235	11,750	73	11,824
セグメント間の内部売上 高または振替高	1	0	1	27	29
計	10,516	1,235	11,752	101	11,853
セグメント利益または損失 (△) (注) 2	2,964	△149	2,815	△11	2,804

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

2. セグメント利益または損失(△)は、営業利益または損失(△)に株式報酬費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

(単位:百万円)

	Sansan/Bill One事業	Eight事業	その他	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
セグメント利益または損失(△)	2,964	△149	△11	△2,739	65
株式報酬費用	50	18	-	52	121
のれん償却額及び無形固定 資産の償却費	-	10	3	-	13
営業利益または損失(△)	2,914	△178	△14	△2,792	△70

(注) 調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益または損失の測定方法の変更)

従来、セグメント利益または損失(△)を営業利益または損失(△)にて表示していましたが、第1四半期連結会計期間より経営上重視する業績評価指標を当社の株価水準に応じて大きく変動する可能性のある株式報酬関連費用や企業結合に伴い生じる費用を控除した恒常的な企業の収益力を表す指標に変更したことに伴い、営業利益または損失(△)に株式報酬費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	Sansan/Bill One事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,020	1,507	15,527	199	15,726
セグメント間の内部売上 高または振替高	2	2	5	58	64
計	14,023	1,509	15,532	257	15,790
セグメント利益または損失 (△) (注) 2	3,907	4	3,912	△36	3,876

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

2. セグメント利益または損失(△)は、営業利益または損失(△)に株式報酬費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

(単位:百万円)

	Sansan/Bill One事業	Eight事業	その他	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
セグメント利益または損失(△)	3,907	4	△36	△3,353	522
株式報酬費用	31	10	-	112	155
のれん償却額及び無形固定 資産の償却費	25	10	19	-	55
営業利益または損失(△)	3,850	△15	△56	△3,466	312

(注) 調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社言語理解研究所の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めています。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては307百万円です。

（重要な後発事象）

（多額な資金の借入）

当社は、2023年12月19日開催の取締役会決議に基づき、以下の通り資金の借り入れを行いました。

- (1) 資金用途：本社移転予定先オフィスの敷金の支払など
- (2) 借入先：取引先金融機関 4社
- (3) 借入金額：1,800百万円
- (4) 借入利率：基準金利＋スプレッド、固定金利
- (5) 借入実行日：2023年12月29日
- (6) 借入期間：4年または5年
- (7) 担保の有無：無担保、無保証